

(様式1)

## 平成19年度 事務事業評価表

記入年月日	平成19年3月23日	記入者		連絡先	756-8410
平成18年度部名	保健福祉部	課名	陽光園	課長名	高橋 哲
平成19年度部名	福祉部	課名	陽光園	課長名	橋本 修一
事務事業名	保育支援検討委員会運営費(陽光園分)				
予算上の事務事業名	保育支援検討委員会運営費(陽光園分)				
1 総合計画における位置づけ	施策コード		11320		
基本目標	「学びあいあたたかさのある福祉文化都市」をめざして				
政策名	第1章 安心して生活できる福祉社会をつくります				
基本施策名	第3節 障害者の自立支援と社会参加				
施策名	第2施策 療育体制の整備と保育・教育の充実				
2 実施根拠及び関連法令・条例・規則・要綱等					
相模原市保育支援検討委員会運営要綱					
3 個別計画の概要			概要		
計画名					
計画年次	年度～	年度			
4 事業形態の区分	審議会・委員会・協議会		5 事業開始年度	昭和63年以前	
6 事業概要					
(1) 事業の目的(何のために行うのか、またはもたらしたい成果)				(2) 対象(誰、何)	
障害児の保健福祉ニーズに対し、円滑で効果的な保健福祉サービスの提供が行われるよう障害児検討部会の下部組織である検討会において、対象児の情報を整理するとともに、処遇に関する評価等を行い、検討部会に資料を提出する。				要援護障害児	
(3) 平成18年度事業の内容(活動)・・・いつ、どのような方法で実施した内容(活動)なのか。					
保育園・幼稚園に入園しているか或いは入園申請をしている児童のうち、支援が必要と思われる対象児に対して、福祉事務所或いは学務課から障害福祉課に依頼があり、保育支援検討委員会の下部組織である検討会を開催し検討する。その検討資料作成のための面接・行動観察・発達評価等については陽光園療育相談室職員が行う。					
7 関連事業・類似事業又は他市の状況					
大和市・鎌倉市・藤沢市等においても同様の会議が設定されている。					
8 事業費の推移 [単位:千円]					
年 度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
事業費	117	123	191	297	297
一般財源	117	123	191	297	297
受益者負担金	0	0	0	0	0
その他の特定財源	0		0	0	0
人件費の合計	1,211	1,208	1,208	1,208	1,208
事業コスト合計	1,328	1,331	1,399	1,505	1,505
9 事業効率・・・活動単位当たりの事業効率					
事業名 (主たる事業名)	保育支援検討委員会運営費(陽光園)			対象名称 と単位	要援護障害児、人
年 度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
事業コスト(主たる事業)	1,328	1,331	1,399	1,505	1,505
対 象 数	92	108	127	135	140
単位あたり経費(円)	14,435	12,324	11,016	11,148	10,750
前 年 度 比		0.85	0.89	1.01	0.96

1 0 活動指標・・・実施した内容（活動）を数値化したもの					
指標名と単位	協議人数（人）	指標式と指標の説明	福祉事務所或いは学務課からの依頼による面接相談発達評価等を行い、検討協議した人数		
	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
実績	92.0	108.0	127.0		
目標	92.0	108.0	127.0	135.0	140.0
目標達成度（%）	100.0	100.0	100.0		
1 1 成果指標・・・もたらしたい成果の達成度を数値化したもの					
指標名と単位	申請人数に対する協議人数（処理率）	指標式と指標の説明	申請人数÷協議人数×100（%）		
	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
実績	100.0	100.0	100.0		
目標	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
目標達成度（%）	100.0	100.0	100.0		
1 2 個別評価					
(1) 妥当性の評価〔A：妥当である・B：妥当性に課題がある・C：妥当でない〕					
A	<input type="checkbox"/>	・法令、条例により実施することが義務付けられている。			
	<input type="checkbox"/>	・法令、条例に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・公益性が高い、または必要性が高い事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。			
(2) 有効性の評価〔A：有効である・B：有効性を高める余地がある・C：有効でない〕					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	・上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。			
	<input type="checkbox"/>	・課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果享受している。			
(3) 効率性の評価〔A：効率が良い・B：効率性を高める余地がある・C：効率が悪い〕					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	・単位あたりの経費は適正である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・再任用や非常勤職員などを活用しても、これ以上のコスト節減の余地がない。			
	<input type="checkbox"/>	・受益者負担や補助等の割合に問題はない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の実施方法や実施体制は適正である。			
(4) 民間活力または市民協働の導入の可能性〔有・無〕					
無	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方が適している。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、市民協働により推進する方が適している。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部に民間委託を導入しているが、さらに民間委託を導入しても効果が見込めない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・市で実施する方が民間委託等をするより適している。			
1 3 総合評価（一次評価）					
(1) 自動判定結果					
	〔 〕：良好な状態を維持する事業				
	〔 〕：概ね良好な状況である事業				
	〔 〕：見直しを行う必要がある事業				
	〔 〕：抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業				
(2) 事業所管課長による評価（今後の方向性）			(3) 事業所管課長の評価に関する説明		
拡充・充実	<input checked="" type="checkbox"/>	・拡充・充実			要援護障害児の処遇について判定は適切に行われている。
	<input type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			
1 4 成果向上及び効率性を高めるための方策			1 5 課題として認識されたこと		
事務局から委員会検討資料を事前に配布することによって効率化・迅速化を図っていく。			保護者の申し出による検討結果の開示について関係課と検討する必要がある。		
1 6 二次評価					
(1) 局内評価会議による評価（今後の方向性）			(2) 二次評価コメント		
現状維持	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			